

祝・40周年

アイデアBOXのひみつ

アイデアBOXとは

フットマークには昭和52年に始まった「アイデアBOX」という新しいアイデアを生み出す仕組みがあります。現在も続いており今年40年目を迎えます。アイデアBOXは6名の委員が全社員からアイデアを募集し、採点します。実際に商品化したり商品名になったり、また大きな気づきになることもあります。開発担当者だけでなく、全社員が新商品開発に取り組んでいます。

アイデアBOXの流れ



全員が集まる場で発表

ThinkingTime



専用紙にアイデアを書き



アイデアBOXに投函



優秀者の発表

アイデアBOXの意義について

意義

昭和63年8月

フットマークという会社は目標にもあるように”新しい創意あふれる製品を開発”することが最大の目標であります。これがなかったら特長も何もない会社です。そのためには担当の人だけが開発をやれば良いのではなく、社員全員がアンテナ役であり、考える人でないと情報やアイデアは生まれません。そういう意味で全員が大変だし、苦しいことかもしれませんがアイデアを出してもらいたいです。やめてしまうことは簡単ですが、決まったことだからどんなことがあっても今年はやり返すことが大切です。その上でやり方を話し合いたいものです。――以下略――

昭和63年現会長：磯部成文が記したメモより

アイデアBOXから生まれました

さらには!

実際に採用されたアイデアBOXから生まれたモノ・コトの一例。

商品



商品名

軽・サラ
NUKUI

などその他多数

ルール



新社屋になり3年。先日各階に時計が設置されました。その標語を募集。

どんなアイデアを募集するの?

直近1年間のアイデアBOXのテーマ

1月	～歌会初め～フットマーク川柳募集
2月	販促アイデア募集
3月	欲しい新素材募集
4月	子供用水着の新企画
5月	売店で売るグッズのデザインアイデア
6月	時間への意識を高める標語募集
7月	ダッシュ(メッシュ帽子)の新しい機能募集
8月	新素材を使った商品開発案
9月	アイデアBOXに取り上げて欲しいテーマ
10月	整理整頓方法のアイデア
11月	2017年フットマークの年賀状アイデア
12月	月刊フットマークのネタ、新企画募集

年賀状



売店商品



毎年開催都道府県の名産にちなんだアイデアを考えています。

ちなみに



朝礼の話のテーマも委員が決めています。ある時はサイコロを振って出た目のテーマで話をこども。

72期アイデアBOX委員長より



アイデアBOX委員長の岡本です。アイデアBOXから生まれたアイデアが、新商品開発などで会社がより良くなるきっかけになれば嬉しいです。活気ある取り組みが出来るよう、環境作りに努めます!



ブラタモリに出演する日も遠くない！ ご主人の江戸東京野菜への愛につつまれたお店

おしあけ 押上よしかつ

押上駅より

東京野菜 喫煙 約4分

東京都墨田区業平 5-10-2 TEL: 03-3829-6468
https://www.hotpepper.jp/strJ000104266/

今回は両国を少し離れ、押上にある「よしかつ」さんをご紹介します。もんじゃ屋さんではありますが、そのメニューは実に幅広く一言では言い表せないお店です。特にご主人の「東京産の野菜」へのこだわりは尋常ではなく、その知識は一つ質問すれば10かえってくるほどです。野菜だけでなく、使用する調味料もほぼ東京産！テレビ番組「ブラタモリ」を見ているかのような豊富な知識量に圧倒されます。



江戸東京野菜とは？

参勤交代で江戸に野菜の種が集まったと言われています。

市場にほとんど出回っていないため希少性が高いです。

野菜の種は在来種とF1種があり、江戸東京野菜は前者にあたります。現代では一代限りで終わってしまうF1種が主流ですが、江戸東京野菜はその種を取り続けることで江戸時代からずっとその伝統的な野菜とその栽培方法を受け継いできました。

いまの目標は？

東京野菜を食べてもらい、理解を深めてもらう活動を続けていくことです。また隠れ目標は東京の自給率を1%から2%にあげる事です。実は東京では1年ごとに山手線一周分の農地がなくなっている現実があります。災害時でも助けてくれるのは身近な農業だと思っています。そのためにも少しでも維持する努力をしたいですね。



最初に出てきた、自家製のお漬物。今回は江戸東京野菜ばかり伝統小松菜、早稲田みょうが、亀戸大根の3種。



刺身は小笠原の尾長鯛、式根島のしまあじ、三崎のまぐろの三点盛り。つまもわざわざ江戸から続く東京伝統野菜。



世田谷区で放牧して育てられたセレブ有難豚。自家製しょうゆこうじをつけて食す蒸し豚。



すみだモダンに認証された「ヨシカツ5モンジャー」の赤のもんじゃ。トマト味で夏場は寺島なすも入っちゃう！

相撲気分を味わえる 土俵があるお店



両国 - 江戸 NOREN
歴史ある両国駅の旧舎を
リニューアルした複合施設



両国八百八町 花の舞
江戸東京博物館前店
https://r.gnavi.co.jp/g863263/

相撲の町、両国

両国といえば、相撲。両国を訪れたことのない方もそんなイメージを持たれているのではないのでしょうか？実際町には至るところに相撲関連のものが。近所で力士を見かけることもしばしばあります。そんな中、先日20年東京五輪・パラリンピックの盛り上げていくことを目的にしたイベント「大相撲 beyond 2020 場所」が両国国技館で行われ、外国人・障害者の方、約3,000名を主な観客として招待されました。



三段構え



三段構えは上段(本然)、中段(攻撃)、下段(防御)の三つの型を表します。迫力のある三段構えにしました！



相撲はよく観ますが、「横綱五人掛かり」は初めてみました。まだまだ知らないことがたくさん！相撲は奥が深いです。



相撲は国技として、もっともっと若い人に見てほしい。きつと、生でお相撲さんをみたら感動するはず。やっぱり僕、相撲大好きです！



日本の伝統文化を広く知ってもらうための、このイベント。土俵に近いエリアには車いす席が設けられ、外国人用に英語での館内放送。障害者用に手話や字幕がモニターに映し出され様々な工夫がされていました。重要な行事でのみ披露される「三段構え」では白鵬関と稀勢の里関の三つの型に場内の視線が集中しました。また国技館で16年ぶりに「横綱五人掛かり」が行われ、日馬富士関が次々と関脇以下の力士を退けました。私たちはパンフレットにあった英語表記の「Yokozuna vs. five Rikishi」でイメージを膨らませました。偶然隣りになった相撲に大変詳しい外国人の方とも盛り上がり、思わぬ交流もありつつ改めて日本の国技・相撲の素晴らしさを感じた1日でした。

相撲の町・両国の日常



フットマーク代表取締役社長：
三瓶 芳 (さんべ かおる)
1958年1月27日(昭和33年) 島根県生まれ
1980年 駒沢大学卒業 2012年 社長就任
季節は秋になり、食欲の秋を謳歌したいところですが、そんな状況ではありません。目下の目標はマイナス3キロ！ダイエットと健康のためにお昼ごはんは大好きなパンではなく鮭おにぎりにしています。

KAORUの部屋 11

～カンボジアからのお客様～

先日、競泳のカンボジアナショナルチームのヘッドコーチと二人の選手そして青年海外協力隊員として水泳指導者にあたる生山咲さんが来日されました。来日の目的は生山さんの母校で水泳指導を受けること。初めての経験だそうです。私どもは5年前にカンボジアへ生産工場を設立し、水泳用品や大会のサポートをさせていただいておりました。カンボジアの水泳はまだまだ発展途上で水泳を始める子どもたちはまだわずか。始めたばかりの子どもたちは水着ではなく男子は短パン、女子はTシャツなどで泳いでいるそうです。ナショナルチームも今年から新設したプールが使えるよう

になったようですが、それまでは水のろ過機のない施設で、青い藻が浮かんでいるプールで練習をしていました。そんな中でも水泳を楽しみ世界をめざす子どもたちやコーチ、それを支援するために日本から単身駐在して指導されている人たちの話を伺うことができ、とても勇気をいただきました。決して恵まれていない環境でも大きな夢を持ち何かに取り組む姿には本当に心を動かされます。いつかきっとオリンピックでカンボジアの国旗が表彰台にあがる姿を期待したいです。そしてその裏には可能性を信じる多くの人たちのあきらめない姿があったことを忘れたくないです。



部門 水泳販売部

入社 1994年

出身地 東京都

趣味 野球、ゴルフ

私の健康法 体重管理
(特にこれと言って何もしてないですが
食事や運動の増減でなんとか維持してます)



行ってみて良かった場所ベスト3



ニューヨーク



世界の中心といえばココ。理屈抜きに一度は行っておくべきだと思います。世界の人が集まる盛んな街の凄みとその喧騒を忘れられる静かなセントラルパークのコントラストが好きです。

ローザンヌ (スイス)



この国がなのかこの町がなのかわかりませんがみんな優しいし、紳士的な人が多い町だと思います。日本もこの点では自信を持っている国だと思いますが、その日本が良いと思うという事は世界一かも。

北海道



やっぱり好きですね。食べ物が美味しいし都会とは空気が違うし、大自然を感じることが出来ます。雪の無い5月～10月くらいまでが特に好きです。



No.907108 自然こちキャップ



頭囲の締め付けが少ないツーウェイキャップ。開発に携わって商品仕様をきめたり、効果測定を行ったりしたことがとても印象に残ってます。2002年の発売から15年経った今も売っている息の長い商品になって嬉しく思います。

お知らせ 墨田区区政70年記念・すみだ巡回展

今年フットマークがある東京都墨田区が制定されて、70年の節目の年となります。それを記念して「区制施行70周年記念事業 地域巡回展 写真でたどるすみだの街角」が開催されます。巡回展ですので区内の様々な事業所が展示場となりますが、フットマークもその一つになっています。

開催日時: 11月15日(水曜日)～11月22日(水曜日) 10時～16時
場所: フットマークマーク館1階(東京都墨田区緑2-8-4)
テーマ: 介護はすみだ生まれ、いま、むかし
※入場は無料です
<http://www.city.sumida.lg.jp/citypromotion/shuunennjigyou.html>



フットマーク本社(昭和30年代)

編集後記

先日初めて国技館で相撲を観ました。両国に勤めて10年以上経ちますが、案外行かないものです。相撲の知識も乏しいので、有名な力士くらいしか分かりませんが、生で見たその迫りに圧倒されました。運よく休場中の三横綱の土俵入りも観ることができました。最近「スー女」なるカテゴリが確立されておりますが、その意味が少し分かったような気も。また押上のよしかつさんは、本当におすすめです！ご主人のお話はとても勉強になります。個人的には秋を満喫しています。

フットマーク株式会社

広報担当: 吉河祐子
Tel: 03-3846-3382
webmaster@footmark.co.jp

※ぜひ感想をお寄せください